

みんなで
みなみ

パワーアッププラン

まちづくりは人づくり

南区長 立石 彰



「パワーアッププラン」
の策定にあたって

「市民の力みなぎる、文化と誇りあふれる街」を目標とした札幌のまちづくりを実現していくための視点・要件とは何でしょうか。

阪神・淡路大震災の時、私は水道応急復旧隊の一員として支援活動に従事しました。

この時の経験から、行政のみの対処には限界を感じました。市民、事業者、行政のそれぞれが責任と役割を果たし連携を図らなければ、災害に対応していくことができなかったからです。

この市民、事業者、行政による「協働」の考え方は、災害対策ばかりでなく環境保全、ゴミの減量化やリサイクル、交通安全などの問題にも共通して言えることで、今後のまちづくりにおいて不可欠な視点・要件が包含されていると言えます。

さらにこのまちづくりに最も大切なのは「人づくり」です。「人」が、地域の活動などを通して成長し、次には成長したその「人」が新しい活動やまちづくりを進めていきます。

今、南区の各地域ではさまざまな活動が芽生えており、私は、それらの活動を通じた「人づくり」に力を注いでいきたいと考えています。

「パワーアップ
プラン」とは？

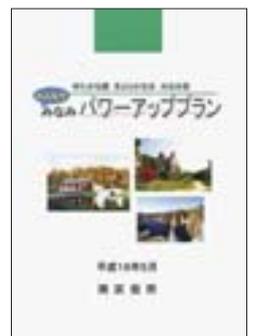
「さっぽろ元気ビジョン」の実現に向け、南区のまちづくりの基本方針や具体的な取り組み事項についての計画であり、私と市長が協議・確認した上で、平成十六年五月に策定したものです。

今回の計画は、平成十六年度に重点的に取り組む事項を中心としていますが、市で策定中の「市民自治推進のプラン」、「新まちづくり計画」、「市役所改革プラン」の内容を踏まえ、今後はパワーアッププランも進化させていきます。



上田市長と協議

区の役割



▲パワーアッププラン

パワーアッププラン策定にあたり、区の役割を次のように考えました。一つ目は、地域の情報交流の場をつくりながら、まちづくりの主役である区民の主体的な活動を支援することです。

二つ目は、地域のニーズや課題を的確にくみ取り、事業の展開やきめ細かなサービスの提供に結びつけていくことです。

現状と課題

現状は、さまざまな活動や情報交流の拠点場所の確保・必要な情報収集が困難であったり、活動を担う人材の固定化や高齢化が進んでいます。そのため、活動が一層活発化する環境づくりを進めることや人材の発掘・育成と団体間のネットワーク化を支援・促進することが大きな課題と考え、次の運営基本方針を策定しました。